

SP事業 第2回樹木剪定講習会を開催しました

先の「保育補助講習会」と同様、昨年度に続き厚生労働省の受託事業として第2回樹木剪定講習会を開催しました。

SP(シニアワークプログラム)事業とは シルバー人材センターが厚生労働省の委託を受けて実施する高齢求職者等を対象とした技能講習(座学・実技)等です。

実施日 平成20年11月6日(木)～12月8日(月)

開催場所 社団法人精華町シルバー人材センター(座学)、けいはんな記念公園(樹木観察)、打越台環境センター(剪定道具と樹木剪定の実技指導)、京都府立大学附属農場(果樹管理講座と果樹剪定の実技指導)、センター剪定班就業場所(剪定就業の実地見学と実技指導)、センター処分場(堆肥化事業実地見学と体験実習)

受講者 29名(一般23名、会員6名)、うち修了者29名(一般23名、会員6名)

【応募の状況】

今回は募集定員を前回より10名増やし30名としましたが、45名(うち会員8名)の応募があり、前回応募の有無を勘案した上で、抽選により受講者を決定しました(うち1名は講習開始後辞退)。

【講習の内容】

講習時間は、前回より13.5時間増やし、41.5時間としました。これにより、以下の項目をセンター剪定班や堆肥化担当者の支援のもとに充実させたほか、センターが実施している堆肥化事業の座学と実地体験を追加しました。あわせてテキストを見易くするために再編集しました。

- ・ 土壌と施肥、植物の病虫害、植栽と管理、果樹の習性と剪定など、樹木剪定のベースとなる知識を学ぶ座学
- ・ 樹木の特性や用語を目で確かめる実地観察
- ・ 樹木・果樹の剪定や整枝の実技指導

【受講の状況】

受講者30名中29名が修了され、修了証を授与しました。全受講者の出席率は99.1%でした。



けいはんな自然公園での
実地見学(実技指導)



センター剪定班就業場所での
実地見学(実技指導)



打越台環境センターでの
実技指導

パソコンの初心者をサポートします

パソコンを使いこなしていますか？

インターネット、文書作成、年賀状、デジカメのアルバム、自治会の名簿や議事録の作成、家系図の作成などパソコンでできることはいろいろあります。

講師は指導経験のあるシルバー人材センターの会員です。プロのインストラクターではありませんが、割安に問題点が解決できるかもしれませんよ。

必要に応じて家庭訪問もお受けします。パソコンで困ったことがあれば、まずはセンターまでお問い合わせください。

